

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

5月に6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので概要をお伝えします。調査結果をもとに、今後も児童一人ひとりの力を伸ばすことができるように取り組んでまいります。

### 教科の状況調査結果

【国語】	分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
				本校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体			14	64	63	64.7
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	言語の特徴や使い方に関する事項	6	65.0	63.8	68.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	77.4	78.9	77.8
		書くこと	2	64.2	58.3	60.7
		読むこと	3	48.2	48.7	47.2

○全体の正答率は、県や全国の平均とほぼ同等の水準となりました。「書くこと」については、県平均を約6ポイント上回っています。

▲漢字を文の中で正しく使う問題では、2～6ポイントほど全国の平均を下回っています。

【算数】	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			本校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		16	72	70	70.2
学習指導 要領の 領域	数と計算	4	62.9	62.2	63.1
	図形	3	62.2	57.3	57.9
	測定	3	76.9	74.7	74.8
	変化と関係	3	78.5	76.6	75.9
	データの活用	5	78.0	77.1	76.0

○全体の正答率は、県や全国の平均を約2ポイント上回りました。特に「図形」の領域では、県や全国の平均を約4～5ポイント上回っています。

### 児童質問紙 回答結果

○「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか」という質問に対し、約82%の児童がわずかでも読書をしていると答え、全国の76%を上回りました。

▲「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」や「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」などの回答は、全国よりも10ポイント近く下回りました。

### まとめ

教科学力については、概ね全国の水準と同等かわずかに上回る結果となりました。一方、規範意識や自己有用感は、ともに全国水準より下回っています。本校の中期取組目標として、「基礎基本の定着を図り、夢や願いをもって自ら学び続ける子を育てる」ことを掲げています。学習への関心を高め、児童一人一人が自分の考えを表現することのできるよう、国語の校内重点研究などを通じて今後も授業改善に取り組んで参ります。